

パパママ参加型「じいじ&ばあばのための孫育て講座」を開催しました

6月24日（日）に、第1回の孫育て講座を開催しました。

仕事と家庭の両立には家族のサポートが必要で、特に子育てに関しては祖父母の持つ力が注目されています。

今回は、「ぶっちゃけ聞かせて！孫（子）育て 親の本音と祖父母の本音」と題して、日頃、言いにくかったり、聞きにくかったりする感謝の気持ちやモヤモヤした気持ちを伝え合い、つきあい方のコツを考える講座となりました。



【「一言自己紹介」の様子】

総勢34人（祖父母世代9人、親世代10人、子17人）にご参加いただきました。

初対面の方が多い中、まずは緊張をほぐすため手遊びなどをしました。



子どもたちはキッズスペース（ブロック、絵本、ぬり絵、映画等を用意）で遊んだり、パパママやじいじばあばと一緒に座ったりして思い思いに過ごしました。

子どもたちがリラックスして過ごせることで、参加者の皆さんも和気藹々とした雰囲気の中、講座がスタート！

今回の講座のゴール（目標）は「つきあい方のコツに気づく」です。

ワークショップ形式で、まずは各世代グループに分かれて話し合いました。

祖父母世代グループは、

- これまでにした手助け、これからしたい手助け
- 孫をみるときの不安事、困り事
- 孫育てでうれしかったこと
- できれば欲しい、気遣い

について意見を出し合いました。



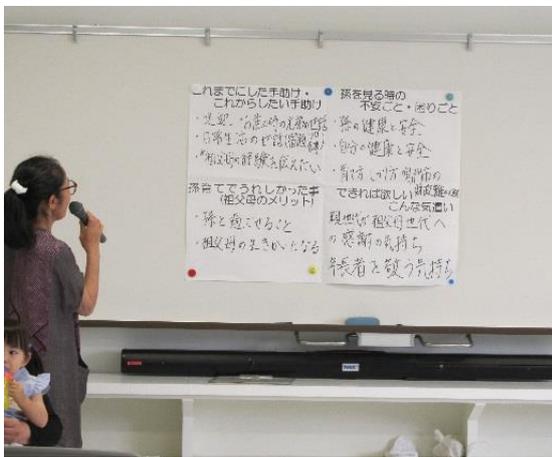


親世代グループは、

- どんな時に助けて欲しいと感じたか
- どんな助けが欲しいか
- 伝えたい感謝の気持ち
- できれば欲しい、気遣い

について、意見を出し合いました。

次に、それぞれのグループで出た意見を発表し合いました。



【祖父母世代からの主な意見】

●これまでにした手助け、これからしたい手助け

送迎、日常生活の世話、経験に基づくアドバイス
学校行事への参加、出産時の世話、病院への付き添い

●孫をみるときの不安事、困り事

送迎時の事故、病気になったときの対処、泣き止まないとき、食事のメニュー（好き嫌い等）
親の了解を得るのが大変、自分の体調

●孫育てでうれしかったこと

孫とのお出かけ、孫の笑顔、
親が任せてくれていること
生きがいを感じる

●できれば欲しいこんな気遣い

週1日の休み、任せきりでなく手伝って欲しい
事前連絡が欲しい
感謝のメッセージが欲しい

【親世代からの主な意見】

●どんな時に助けて欲しいと感じたか

子どもや自分の体調が悪くとき
残業時、緊急時
自分の時間、夫婦の時間が欲しいとき
（趣味、散髪 等）

●どんな助けが欲しいか

食事をとらせて欲しい（1品でも助かる、外食もOK）、習い事等の送迎
子どもの遊び相手
子どもにとっての第2の心のよりどころになってほしい



●伝えたい感謝の気持ち

子どもが喜ぶ、
しかったときの子どもにとっての避難所になってくれる、
気持ちにゆとりが持てる、
頼りになる、大変さを理解してくれる、
体調が悪いときさりげなく気遣ってくれる、
アドバイスをくれる
たくさん手伝ってくれてありがとう！

●できれば欲しいこんな気遣い

おもちゃ等を買ってくれるとき、相談が欲しい
食事前のおやつは止めて欲しい、
インスタント類は控えて欲しい、
無理なときは子守も断って！
(祖父母の健康も大切！)、
子育てのアドバイスを夫にして欲しい、
親子で決めた約束事は破らないで欲しい

それぞれの世代の気持ちを共有した後、本日のゴール（目標）である「つきあい方のコツ」についてグループで話す時間を持ちました。

今回は、同一家族からの両世代の参加はありませんでしたが、各世代が育児に関してどのような困り事があり、どのような気持ちを抱いているかが共有できました。

この報告書をご覧になっているあなたのご家族も同じことを感じているかもしれません。直接話すのは気まずい場合は、是非つきあい方の参考になさってみては？

参加者の皆様の感想を一部ご紹介します。

- ・祖父母世代だけでなく、同世代の意見を聞いたことも子育てに活かすことができそう。
- ・祖父母世代の心配ごとが知れたので、今後のお願いの仕方を考え直すきっかけになった。
- ・当たり前と思って伝えていなかった感謝と尊敬の気持ちに気づいた。
- ・自分の悩みが同世代と共通であることがわかり、気が楽になった。
- ・思いを文字にすると「なるほど！」と改めて気づいた。